

もったいない地球財布は  
再利用と地産地消を  
おすすめ



NEWS!  
2018年7月号

[発行] NPO 法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク ●〒553-0006 大阪市福島区吉野 4-17-11 エコロジーラボ内  
●郵便振替 00920-8-154437 ●年会費 1 口 2000 円(個人 1 口以上、学生半口以上、団体 3 口以上、賛助会員(会社)5 口以上)  
●TEL & FAX: 06-6462-2775 ●携帯: 090-8989-5182(代表山口) ●http://www.geocities.jp/gconosaka/ ●gcon\_osaka@yahoo.co.jp

水俣病の原因物質：水銀規制の強化で

# 家庭から排出される蛍光灯の 処理はどうなっているの？

水俣病の原因はチッソ(株)がタレ流した工場排水中の有機水銀でした。水銀の危険性は広く知られているものの、金の違法採掘に用いられるなど途上国を中心に使用量は多く、地球規模の汚染が続いています。魚介類の水銀濃度は 19 世紀中頃より急激に増加しており、多食する北極圏の人々などで健康影響の懸念が指摘されています。

このため国際的にリスクを低減するための条約が締結され、水俣条約と名付けられました。条約は昨年 8 月に発効しています。

日本は途上国の対策支援を表明するとともに、国内の対策を改めて強化しました。「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が制定され、大気汚染防止法や廃棄物処理法なども規制が強化されました。

さて、私たちの生活の中にも、意外と水銀を含む製品が残っています。ご年配の方には水銀体温計が一番イメージしやすいと思いますが、さすがにデジタルのものに換わっているでしょうか？ では蛍光灯は？ すべて省エネになる LED に切り替えていますか？ 蛍光灯のガラス管の中には微量の水銀が封入されています。LED に切り替えるために蛍光灯をごみに出す時に割れるような出し方をしたら、中の水銀は揮発して大気を汚染します。各自治体のルールに従って出さなければなりません。

では、集められた蛍光灯はどのように処理されるのでしょうか？ 法規制の強化に前後して大阪近辺にも蛍光灯を適正処理することができる工場がいくつかできました。水銀を回収し、ガラス・金属類などを再資源化している工場の一つを見学に行くことにしました。

日時：8月28日(火) 午後1時に集合 見学は1時30分～2時間程度  
集合場所：阪神尼崎駅 アksesはタクシー相乗り約10分、マイカーの方は工場にて集合  
見学先：野村興産(株)関西工場 大阪市西淀川区中島2-4-143  
参加者数：MAX20人まで。 参加費：交通費等分担あり  
共催：大阪ごみ減量推進会議  
申込み方法：e-mail [gcon\\_osaka@yahoo.co.jp](mailto:gcon_osaka@yahoo.co.jp) FAX 06-6462-2775  
お問合せ：090-8989-5182(山口)